

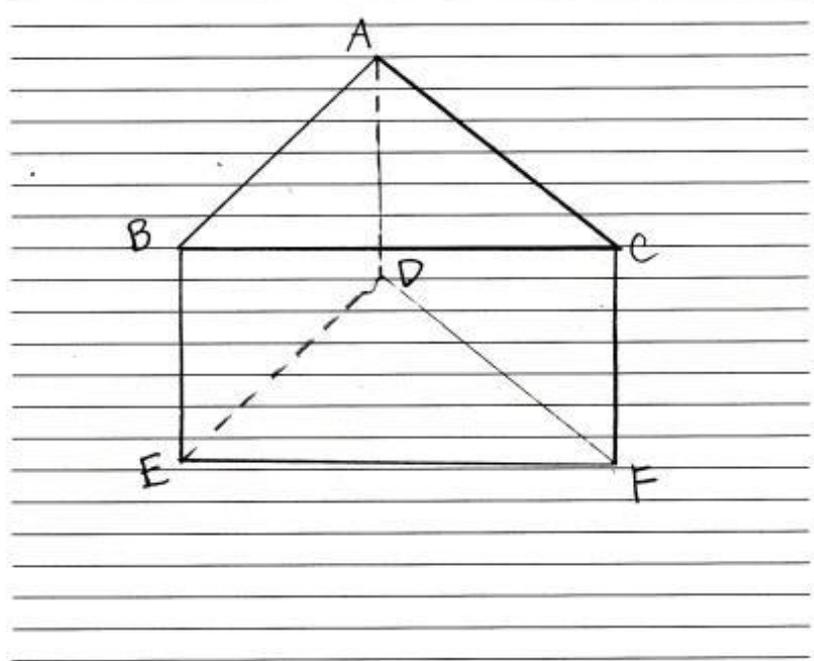
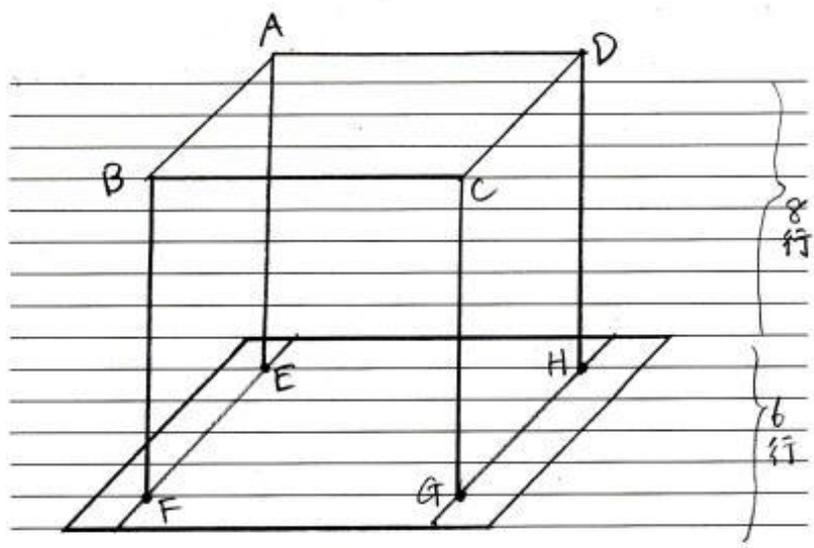
P 1 7 8 □直線と平面の位置関係

ひろげよう 「ひろげようを読んでください。」

平面の上に立方体がのっている図を指示しながらいっしょに書いてみる。

- ①ノートの罫線を8行あけて一本8cmなぞる。
- ②そこから6行開けて少し左にずらして一本8cmなぞる。
- ③この二本の左端、右端をつなぐ。
- ④左端から1cm, 右端から1cmを点でとり左どおし右どおしをつなぐ。
- ⑤上の線から下へ1行目と下から上へ1行目をなぞる
- ⑥④⑤でできた交点から上へ6cmの4本の柱を立てる。
- ⑦4本のはしらの先をつなぐとできあがり。

- ・直線BCと平面EFGHの位置関係は**平行である**。
- ・直線BCと平面CGHDの位置関係は**垂直に交わる**。  
このように平面を言うときはぐると一回りするように言うこと  
どこから出発してもいいしどちら廻りでもいい
- ・直線BCと平面ABCDの位置関係は**直線は平面上にある**。



問3 「問3を読んでください。」

適当に三角形を一つ教科書のまねをして書いてみよう。

その頂点から下に足を4 cmのばして足先をつなぐと三角柱のできあがり。

(1) 平面ABC上にある直線

AB, BC, AC

(2) 平面ABCと垂直に交わる直線

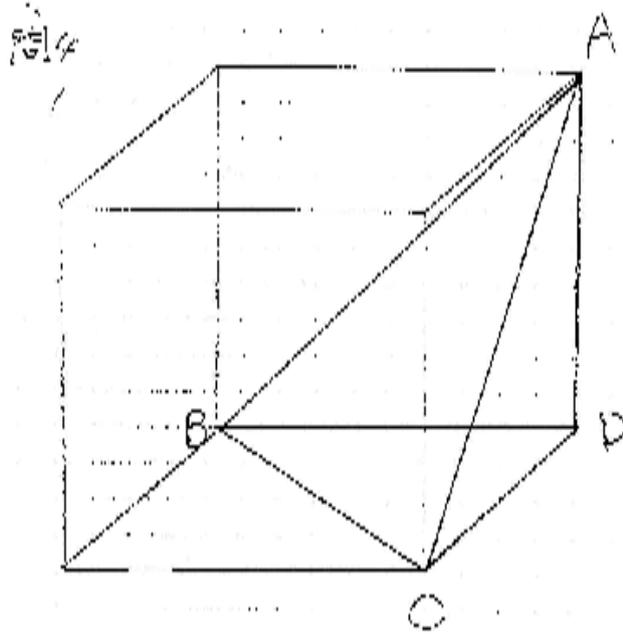
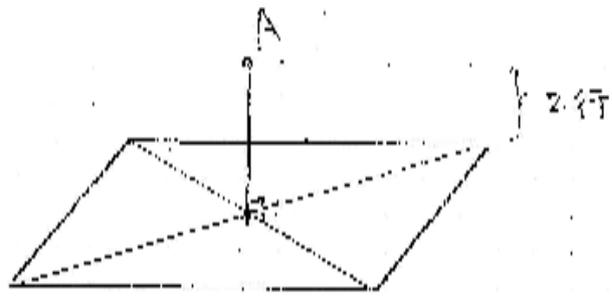
AD, BE, CF

(3) 平面ABCと平行な直線

DF, DE, EF

平面を書いてその真ん中の上空に点Aがある。

点Aと平面Pとの距離は この垂線の線分の長さである。



問4 「問4を読んでください。」

ノートに指示しながらいっしょに立方体を書きその一部をつないで三角錐をかく。

(1) 面BCDを底面としたとき 高さはAD

(2) 面ACDを底面としたとき 高さはBD